

令和7年度自動車整備士技能検定実技試験

〔自動車車体整備士〕

問題用紙

令和7年12月14日

| | | | | |
|------|---|---|----|--|
| 受験番号 | 第 | 号 | 氏名 | |
|------|---|---|----|--|

〔注意事項〕

1. 受験番号及び氏名を該当欄に記入して下さい。
2. 問題の中には解答の記入を必要としているものもあります。解答の記入は問題用紙の該当欄に記入して下さい。ただし、**思考席では記入しないで下さい。**
3. 問題用紙の余白部分には自由に記載することができます。
4. 故障を設定している問題については、問題中に特段の指示がない限り、**重複故障はないこと**とします。
5. 試験終了後、この問題用紙を回収します。

〔不正行為等について〕

1. 携帯電話等の電子通信機器類は、試験会場に入る前に必ず電源を切って、カバン等に入れておいて下さい。
2. 試験時間中（試験会場内）において、携帯電話等の電子通信機器類を使用した場合は、不正行為があったものとみなし、当該試験を無効とする場合があります。
3. その他、試験員の指示に従って受験して下さい。

台上の模型は自動車の車体の一部を模したものです。次の各問いに答えなさい。

問 1. トラッキング・ゲージ又は巻き尺を用いて指定された点の中心間の距離を測定し測定値欄に数値を記入しなさい。なお、測定値はミリ・メートル未満を切り捨てとする。

| 測定箇所 | 測定値 |
|-------|-----|
| A-B 間 | mm |
| A-C 間 | mm |
| A-D 間 | mm |
| A-E 間 | mm |
| C-D 間 | mm |
| B-E 間 | mm |

問 2. 問 1 の結果から各測定点の位置関係を図から選び、ア、イ、ウ、エのいずれかを○で囲みなさい。
ただし、部材②と部材③は同一かつ曲がり無く、部材③は部材①に直角に取り付けられている。

| | |
|--|--|
| <p style="text-align: center;">ア</p> <p style="text-align: center;">同じ長さ</p> <p>A-D より A-B が長い。A-E より A-C が長い。</p> | <p style="text-align: center;">イ</p> <p style="text-align: center;">同じ長さ</p> <p>A-D より A-B が短い。A-E より A-C が長い。</p> |
| <p style="text-align: center;">ウ</p> <p style="text-align: center;">同じ長さ</p> <p>A-D より A-B が短い。A-E より A-C が短い。</p> | <p style="text-align: center;">エ</p> <p style="text-align: center;">同じ長さ</p> <p>A-D より A-B が長い。A-E より A-C が短い。</p> |

台上に設置された各モデルは外板板金塗装修正工程の板金・溶接・塗装について簡略化したものです。次の各問いに答えなさい。

なお、必要事項は台上にある留意事項に記載しています。

問 1. 台上に準備された工具から、絞り作業(絞りハンマリング)を行うために最も適切な工具を選択し、絞り作業を行う方法を採点員に提示しなさい。(実際にハンマリングを行う必要はありません)

問 2. 台上に置かれた溶接サンプルのうち、外板パネルのスポット溶接の溶接条件が適切に設定されているものを A、B、C から選び、解答欄 A、B、C のいずれかを○で囲みなさい。

| |
|-----------|
| 解答欄 |
| A ・ B ・ C |

問 3. 台上に準備された塗装前のマスクングのサンプルのうち、塗装範囲にプラサフを塗布する場合に適切なものを A、B、C から選び、解答欄 A、B、C のいずれかを○で囲みなさい。

| |
|-----------|
| 解答欄 |
| A ・ B ・ C |

ここにある自動車について、次の各問いに答えなさい。

なお、必要事項は台上にある留意事項に記載しています。

問1. 右前フェンダ、フード、右前ドアにマーキングしている①～③の隙間を測定しなさい。測定値は小数点第1位（小数点以下第2位を切り捨て）までを測定結果欄に記入しなさい。

また、測定した結果から良否判定を行い、点検結果欄の良又は否のいずれかを○で囲みなさい。

| 測定箇所 | 測定結果 | 点検結果 |
|-----------------|------|------|
| ① フェンダ×フード隙間 | mm | 良・否 |
| ② フェンダ×ドア隙間（上側） | mm | 良・否 |
| ③ フェンダ×ドア隙間（下側） | mm | 良・否 |

問2. 右後ドアの各測定箇所の寸法が下表の測定値のとき、適正に調整するために最も適切な調整箇所及び調整方向をそれぞれ一覧から選択し、解答欄に番号を記入しなさい。

注意：寸法測定は行わないこと

| 測定箇所 | 隙間 | | 段差 | |
|------|-------|-------------|--------|-------------|
| | 測定値 | 建て付け寸法（基準値） | 測定値 | 建て付け寸法（基準値） |
| A | 5.0mm | 3.0～8.0mm | +3.0mm | -1.5～+1.5mm |
| B | 5.0mm | 3.0～8.0mm | +3.0mm | -1.5～+1.5mm |
| C | 5.0mm | 3.0～8.0mm | +1.5mm | -1.5～+1.5mm |
| D | 5.0mm | 3.0～8.0mm | ±0mm | -1.5～+1.5mm |
| E | 5.0mm | 3.0～8.0mm | +1.5mm | -1.5～+1.5mm |

【調整箇所】

- ① ドア・ヒンジ（ボデー側ボルト）
- ② ドア・ヒンジ（ドア側ボルト）
- ③ ドア・ストライカ（取付スクリュ）



【調整箇所】 解答欄

【調整方向】

- ① 上方向
- ② 下方向
- ③ 車両前方向
- ④ 車両後方向
- ⑤ 車両右方向
- ⑥ 車両左方向



【調整方向】 解答欄